



防府市民のみなさんが参加されている人権学習のようすや、防府市内の小・中学校が行っている人権についての取組を広く発信することにより、より多くの方が人権について考えることのできる機会をつくり、一人ひとりの人権が尊重された心豊かな温もりのある地域づくりの一助としたいと考えています。人権学習の依頼・質問等ございましたら、生涯学習課人権学習室までご連絡ください。(0835-23-3016)

第4回人権学習市民セミナー 12月4日(土)

「知らない世界の環境問題～みんなが幸せに住み続けられる社会とは～」

講師：山口県JICAデスク
国際協力推進員 小川 真奈 さん

1 SDGs (持続可能な開発目標)

皆がずっと地球に住み続けられ、皆にとって幸せな未来にする。キーワードは「誰ひとり取り残さない」です。

2 JICA海外協力隊の経験から



ケニアでは、水汲みに片道1～2時間かかる地域や、水が少なく雨水で生活する地域もあります。水不足や劣悪な水質、衛生施設の不備等が「食料の安定確保」「生計手段の選択」「教育の機会」「健康」「環境汚染」に悪影響を及ぼしています。

また、ペットボトルやオイルタンクも洗って再利用したり、水を無駄遣いすることなく大切に使う洗濯をしたりしています。水だけでなく、食べ物をきれいに余すことなく食べるなど、その有難みがよく理解されています。

世界の「今」を知り、私たちの当たり前を見直してみましょ！

3 環境問題と人権

人権は、誰もが幸せに人間らしく暮らしていくための大切な権利です。人類が共存できる環境を保全することは、この権利と深く結びついています。自分の身の回りの環境だけを考えるのではなく、遠く離れた場所や、少し先の未来についても考えてみましょう。そして、誰もが笑顔で過ごせる明るい未来のために、今、自分にできることから始めましょう。

節電

地産地消

ゴミの分別

節水

商品の
手前どり

牟礼公民館 高齢者教室 12月9日(木)

「感染症の問題から人権が尊重された社会について考える」

講師：三輪 知志 人権学習指導員

牟礼社会福祉協議会と牟礼公民館高齢者教室の共催で、人権学習会を行いました。ハンセン病に関する人権課題を学ぶことを通して、新型コロナウイルス感染症による偏見・差別・排除についても考えるきっかけとなりました。

ハンセン病も、新型コロナウイルス感染症も「感染したくない」「怖い」「原因が分からない」などの気持ちから、【避ける】【攻撃をする】といった差別が起きています。不安を差別につなげてはいけません。

差別を他人事せず、自分のこととして考えてみましょう。差別をなくすためのキーワードは、【正しい知識と相手を思う想像力】です。

参加者からは「ハンセン病ってどういう病気なのか、今まで知らなかった。つらい思いをされたんだね。」「自分の考えや行動が差別につながることを自覚し、相手を思いやる気持ちを忘れてはいけません！」といった声が聞かれました。

